



平成 20 年 2 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ホロン
代表者名 代表取締役社長 穴澤 紀道
(J A S D A Q ・ コード 7748)
問合せ先 取締役総務部長 加藤 邦彦
電 話 03-3341-6431

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 2 月 22 日開催の取締役会において、平成 19 年 12 月 17 日に株式会社エー・アンド・デイ(東証第 1 部:証券コード 7745)との間で締結した第三者割当増資に関する基本合意書(注)に基づき、第三者割当による新株式の発行を下記の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。

(注)平成 19 年 12 月 17 日に発表いたしました「株式会社エー・アンド・デイに対する第三者割当増資に関する基本合意書締結についてのお知らせ」をご参照下さい。

記

新株式発行要領

- | | |
|--|-----------------------|
| (1) 発行新株式数 | 普通株式 7,518 株 |
| (2) 発行価額 | 1 株につき 金 26,600 円 |
| (3) 発行価額の総額 | 199,978,800 円 |
| (4) 資本組入額 | 1 株につき 金 13,300 円 |
| (5) 資本組入額の総額 | 99,989,400 円 |
| (6) 申込期日 | 平成 20 年 3 月 7 日(金) |
| (7) 払込期日 | 平成 20 年 3 月 10 日(月) |
| (8) 新株券交付日 | 平成 20 年 3 月 10 日(月) |
| (9) 割当先及び株式数 | 株式会社エー・アンド・デイ 7,518 株 |
| (10) 前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。 | |

1. 募集の目的及び理由

当社は、電子ビームを用いた半導体マスク用寸法測定装置を主力製品として事業を営んでおりますが、競合企業との競争が激化し、売上高の著しい減少により平成 18 年 3 月期より 2 期連続して営業損失及び営業キャッシュ・フローがマイナスの状況にあり、当期におきましても、平成 20 年 2 月 7 日に公表しました「平成 20 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高の大幅な減額修正を余儀なくされる見通しであります。

これは、当社製品の需要に連動する市場であるフォトマスク市場の動向及び顧客の設備投資動向の変動に当社の対応が遅れたことにありました。当社は主力製品であるマスク用寸法測定装置「EMU」を、測定対象が最先端の 45-32nm ノード対応機として開発してまいりましたが、フォトマスク用 CD-SEM 市場は、65-45nm ノードから 45-32nm ノードへ移りつつある端境期が長期化の様相を呈し、顧客各社は 65nm ノードの量産体制のまま推移し 45nm ノード以降の開発が抑えられ、設備投資予算実行が先送りされたため、当社は受注獲得ができない結果となりました。マスク用寸法測定装置 1 台あたりの販売価格は、顧客の要求するオプションにより異なりますが、約 2～3 億円と非常に高額なことから、この商談の不成立が売上高の大幅な減額修正に繋がりました。今後の対策としまして、現在保有する技術の応用や改良によって新製品の開発に努め、製品のラインアップの充実を図ることにより、フォトマスク市場への依存の軽減が課題となっております。

上記課題を解消するために、現在、主力製品である「EMU」の性能アップと LED（発光ダイオード）生産用パターン転写装置である電子スタンプ「EBLITHO」の市場投入で売上の増加、損益の改善を計画、実行しておりますが、当面の事業活動の停滞を未然に回避するための運転資金への対応として資金調達手段の検討を行ってまいりました。

その結果、平成 19 年 12 月 17 日に公表しました「株式会社エー・アンド・デイに対する第三者割当増資に関する基本合意書締結についてのお知らせ」のとおり当該会社との合意に至りました。割当先である株式会社エー・アンド・デイは、現在当社株式の 10.46%を保有し当社創立時よりの長期安定株主としてご支援いただいておりますものの、特に事業上の取引はございませんでした。しかし、同社は平成 12 年には電子ビーム偏向用 D/A 変換器事業の関連分野である電子銃（電子ビーム発生装置）の開発に着手し、電子ビーム事業の業容拡大に注力していることから、今後の両社の共同開発を視野に入れた事業展開と新製品の開発及び製品ラインアップの充実を図る試験研究費等の資金面での強化を得てこれを一時的な手当てとせず事業継続するために、株式会社エー・アンド・デイとの関係強化を図ることが当社にとって最善策との考えに至り、第三者割当による新株発行という方法にて増資を実施するものであります。

具体的な業務内容につきましては今後の検討事項ですが、製品の競争力強化、新製品の共同開発、新規市場の開拓等に取り組んで行く方針であります。詳細につきましては、決定し次第改めてお知らせする予定です。

2. 調達資金の額及び使途

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

197,978,800 円

(2) 調達する資金の具体的な使途

上記差引手取概算額 197,978,800 円の使途につきましては、100,000,000 円相当を主力製品「EMU-270」の性能アップのために必要な収差補正装置等の購入代金の支払に充当し、残額につきましては、電子スタンプ「EBLITHO」の本格的量産タイプの製品開発費や販売促進費並びに新製品開発のための試験研究費に全額充当する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成 20 年 7 月から平成 20 年 12 月

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

今回の第三者割当増資で得られる資金を既存事業及び新規事業に投入することにより、製品の進化・開発に努め製品価値を高めて市場に提供し、上場企業として事業継続と経営の安定化を図り、業績の回復と更なる事業拡大を目指すことが企業価値の向上、更には株式価値の向上に繋がると考えられることから、資金使途は既存株主にとっても合理性があると判断しております。

3. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績

(単位：千円)

決 算 期	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
売 上 高	2,250,290	974,434	566,848
営 業 利 益	529,833	△152,921	△400,681
経 常 利 益	527,293	△143,321	△396,430
当 期 純 利 益	334,337	△260,313	△398,614
1 株当たり当期純利益 (円)	13,718.67	△10,200.35	△15,540.51
1 株当たり配当金 (円)	3,400.00	1,700.00	—
(うち 1 株当たり中間配当金)	(1,700.00)	(1,700.00)	(—)
1 株当たり純資産 (円)	80,623.91	67,023.56	51,265.57

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

(平成 20 年 2 月 22 日現在)

種 類	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	25,887 株	100%
現時点の転換価格 (行使価格) における 潜 在 株 式 数	989 株	3.8%
下限値の転換価格 (行使価格) における 潜 在 株 式 数	—株	—%
上限値の転換価格 (行使価格) における 潜 在 株 式 数	—株	—%

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
始 値	460,000 円	469,000 円	159,000 円
高 値	721,000 円	539,000 円	165,000 円
安 値	460,000 円	127,000 円	58,900 円
終 値	472,000 円	156,000 円	66,500 円

②最近6ヶ月間の状況

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
始 値	44,000 円	35,000 円	34,400 円	41,000 円	32,600 円	33,000 円
高 値	45,500 円	36,100 円	45,400 円	41,700 円	38,600 円	33,000 円
安 値	34,500 円	28,500 円	31,300 円	29,800 円	29,000 円	25,000 円
終 値	34,500 円	32,800 円	43,000 円	32,800 円	32,400 円	28,000 円

③発行決議日前営業日における株価

平成20年2月20日現在	
始 値	25,210 円
高 値	25,400 円
安 値	25,100 円
終 値	25,100 円

※平成20年2月21日は売買が不成立のため前日(平成20年2月20日)の株価を記載しました。

(4) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

第三者割当増資

発 行 期 日	平成20年3月10日
調 達 資 金 の 額	199,978,800 円
募集時点における発行済株式数	25,887 株
当該増資による発行済株式数	7,518 株
募集後における発行済株式総数	33,405 株
割 当 先	株式会社エー・アンド・デイ

(5) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

4. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成 19 年 9 月 30 日現在）		募集後（平成 20 年 3 月 10 日）	
富加津 好夫	18.08%	株式会社エー・アンド・デイ	30.58%
株式会社エー・アンド・デイ	10.46%	富加津 好夫	13.96%
宮内 栄	3.06%	新田 純	2.48%
新田 純	2.87%	宮内 栄	2.36%
山川 陽光	1.96%	山川 陽光	1.51%
生江 隆男	1.94%	生江 隆男	1.50%
富加津 英夫	1.94%	富加津 英夫	1.50%
崎山 武美	1.80%	崎山 武美	1.39%
穴澤 紀道	1.69%	穴澤 紀道	1.30%
東 祥弘	1.54%	東 祥弘	1.19%

5. 業績への影響の見通し

今回の増資は主に新製品の開発及び製品ラインアップの充実を図る試験研究費等の資金面での強化を目的としておりますので、平成 20 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 20 年 2 月 12 日発表の通期の業績予想に変更はありません。

平成 21 年 3 月期以降の見通しにつきましては、本件増資により調達した資金を運転資金へ充当することにより現在取り組んでいる製品性能アップと市場投入を推進し、更に新製品の開発及び製品ラインアップの充実を図る試験研究への投資が可能になることから、売上増加に寄与するものと考えております。業務提携内容を両社にて検討を進め、具体的な施策が明らかになり次第改めてお知らせいたします。

また、株式会社エー・アンド・デイは当社株式を 30.58%保有することになりますが、基本合意書に基づき、割当先より社外取締役候補として同社代表取締役古川 陽氏を受け入れることといたします。同氏は電子ビーム技術に精通しているうえに当社の事業内容も理解しておりますので、同氏の参加により、当社は今後の共同開発を視野に入れた事業展開の推進や経営面での改善、強化が図れるものと考えております。

6. 発行条件等の合理性

(1) 発行価格の算定根拠

発行価格につきましては、当該増資に係る取締役会決議の直前日までの直近 3 ヶ月（平成 19 年 11 月 22 日から平成 20 年 2 月 21 日まで）の株式会社ジャスダック証券取引所が公表した当社普通株式の普通取引の最終価格の平均値 29,508.49 円に 0.9（ディスカウント率 10%）を乗じた額（百円未満四捨五入）といたしました。

上記の期間（平成 19 年 11 月 22 日から平成 20 年 2 月 21 日まで）の平均値を基準として発行価格といたしましたのは、当社の株価が業績の不振から下降または不安定な状況にあり、平

成 20 年 2 月 7 日発表の通期業績予想の下方修正の影響も考慮いたしますと、前営業日の終値という一時的な株価を採用するより 3 ヶ月間の平均株価という平準化された値を参考とする方が算定根拠として客観性が高いと判断したためであります。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した理由

今回の第三者割当による新株式の発行により、現在の当社の発行済株式数に対し 28.93%の割合で、希薄化が生じます。しかし当社としては、今回の第三者割当による新株式の発行で得られた調達資金を既存事業及び新規事業に投入することにより、製品の進化・開発に努め製品価値を高めて市場に提供し、上場企業として事業を継続発展させ経営の安定化を図ることが既存株主の利益保護に繋がるものと考えております。そして、財務体質の強化及び事業拡大への投資を通じて、企業価値及び株式価値の向上を図ることを目的としておりますので、今回の第三者割当増資は既存株主にとっても合理的であると判断しております。

7. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

(平成 19 年 9 月 30 日現在)

① 商 号	株式会社エー・アンド・デイ
② 割 当 株 数	7,518 株
③ 払 込 金 額	199,978,800 円
④ 事 業 内 容	電子計測器、産業用重量計、電子天びん、医療用電子機器、試験機 その他電子応用機器の研究開発、製造、販売
⑤ 設 立 年 月 日	昭和 52 年 5 月 6 日
⑥ 本 店 所 在 地	東京都豊島区東池袋 3 丁目 23 番 14 号
⑦ 代表者の役職・氏名	代表取締役 古川 陽
⑧ 資 本 金 の 額	6,371,211 千円
⑨ 発 行 済 株 式 数	22,324,500 株
⑩ 純 資 産	20,345 百万円
⑪ 総 資 産	45,262 百万円
⑫ 事 業 年 度 の 末 日	3 月 31 日
⑬ 従 業 員 数	626 名
⑭ 大株主及び持株比率	バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ ウント ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイー・エイシ ー (常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行) (7.37%) (株)フルカワ (6.87%) エー・アンド・デイ従業員持株会 (6.38%)
⑮ 主 要 取 引 銀 行	埼玉りそな銀行、足利銀行、みずほ銀行

⑩ 当社との関係等	資本関係	割当先が保有している当社の株式の数 2,698株（持株比率10.46%）		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
⑪ 最近3年間の業績	（単位：百万円）			
決算期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	
売上高	25,472	31,225	34,767	
営業利益	2,678	3,348	3,342	
経常利益	2,415	3,192	3,418	
当期純利益	1,439	1,935	2,348	
1株当たり当期純利益(円)	72.27	89.73	105.73	
1株当たり配当金(円)	8.00	8.00	11.00	
1株当たり純資産(円)	600.04	784.06	877.02	

(2) 割当先を選定した理由

当社は、上記「1. 募集の目的及び理由」に記載しましたとおり、当面の事業活動の停滞を未然に回避するための運転資金への対応として資金調達手段を検討していましたところ、上記割当予定先より本条件での賛意、協力が得られたため、第三者割当による新株式の発行を決議いたしました。

株式会社エー・アンド・デイは当社創立時より大株主であるものの事業上の取引はありませんでしたが、平成12年より電子ビーム事業の業容拡大に注力していることから、今後は両社の研究開発状況や開発方向性等に技術面での接点を見出し、両社が互いに深い関係を構築することが可能であると判断いたしました。

(3) 割当先の保有方針

当社は割当先との間において、割当新株式について、継続保有及び預託に関する取り決めはありません。ただし、割当株式の保有方針について、原則として長期保有するとの報告を受けております。なお、割当先との間において、割当新株式効力発生日（平成20年3月10日）より2年間において、当該割当新株式の全部又は一部譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告することの内諾を受けております。

以上